

SHIENアカデミーPress

Vol.5 We wish you a happy new year!

INDEX

- ・ 代表理事からのメッセージ 「弱み」を生かすという発想……P1
- ・ SHIENアカデミー東京分校設立記念フォーラム開催報告……P2
- ・ SHIEN理論研究会、はじまります。……P3
- ・ 書籍のご紹介、会員・講座受講中の皆様へ……P3
- ・ SHIEN学×コラボシリーズ 第4回 SHIEN学×川越胃腸病院(埼玉) ……P4
- ・ 公開講座・SHIENアカデミー公認資格講座のご案内……P6

「弱み」を生かすという発想

SHIENアカデミー代表理事 たておかやすを

ゴールドコーストの国際学会に行ってきました。オーストラリアは、野菜や果物がとても豊富で美味しくドレッシングが必要ありません。太陽と自然がまったくくせのない植物を生み出していました。また、人口も2300万人で日本の5分の1、エネルギーもとても豊かでした。良いことばかりかという、水不足とbush fire(山火事)が悩みの中で、学会の発表は、日本の学会と異なり、drought(干ばつ)と火事についての発表が目白押しでびっくりしました。

このことをSHIEN学的に考えて見ると、一国には必ず強みと弱みがあります。科学技術を使って自国内で問題をなんとか解決しようとはしますが、なかなか容易ではありません。弱みや問題を困ったことと捉えるのではなく、機会として捉え、他国からSHIENしてもらえるとすると、SHIEN国に感謝の気持ちが湧いて、信頼が育まれ始め、平和への礎が築かれていくでしょう。弱点や問題は、このようにして生かしていくことが大事だとSHIEN学は考えます。

本当は、国連などが大国を中心とした利害調整に終始する「20世紀的取組み」ではなく、世界の国々の強みと弱みを上手にマッチングし、SHIENし合うようにリードしていくような「21世紀的取組み」をすることが大事なのです。すると、SHIENし合う文化が世界に始まり、パレスチナやイスラエルにも部分的にSHIENが起こり、世界の未来のモデルが示されていくことになるのです。

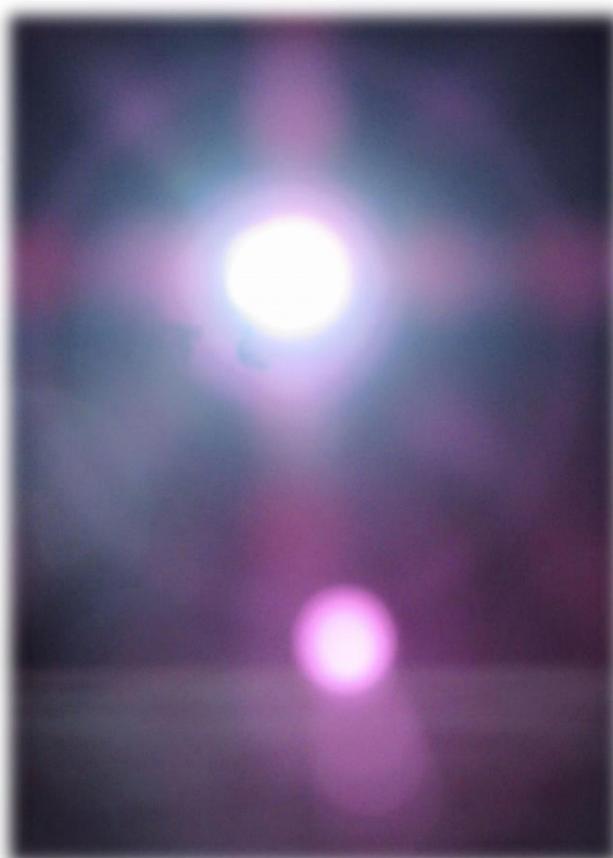


Photo by Yasuo

一般社団法人SHIENアカデミー静岡

TEL/FAX 053-434-9776 shien@shien-academy.jp

<http://www.shien-academy.jp>

<https://www.facebook.com/shien.academy>

SHIENアカデミー東京分校 設立記念フォーラム開催しました！

11月28日(土)、SHIENアカデミーの関東地方の拠点となる東京分校の設立記念フォーラムを開催しました。当アカデミーの運営委員でもあるプロフェッショナルコーチの井原くみ子さんの講演「世界はSHIENであふれている」と、たておか先生の「SHIEN学の基礎」の2本立てに加え、SHIEN相談会の体験を通して、SHIEN学の世界をたっぷり4時間堪能しました。遠く熊本や仙台からご参加いただいた方もいて、学校関係、病院関係、企業関係と多岐にわたる参加者のみなさまが、いまSHIEN学が必要である理由を熱く語っていかれました。東京分校は今後、SHIEN学を盛り上げ、社会に役立てようというみなさまの意見を聞きながら、活動内容を決めていく予定です。



Message

東京分校設立記念フォーラムで講師を務めた井原くみ子さんからメッセージが届きました。



SHIEN学に関わり始めてから私の中で大きなものが動き始めていることを感じます。「見えないけれど大切なものがある」ことを知ったことで、今まで見えなかったものが見えるようになった。これが変化のきっかけではないかと思えます。それはまるで、魔法の粉をふりかけると、本当に大切なことが、現実から白く浮き上がってくるようなイメージ。そういうことを見出せたことで、私が一段と成長させていただいている、この事実に対して、私は感謝するしかありません。

大切なこと、それを強いて言葉にすると、「思いやり」とか「利他の心」とか言えるのではないかと思います。自分に心があるように、相手にも心がある、ということに意識を向け

ることが、SHIEN学の言う「重なりのない所に重なりをつくる」の原点かなと思っています。

いま私の中で何かが加速している、その一つの例が書籍(※)を共著で出版できたことです。以前からお願いはされていたのですが、あるときプロパラ的に“第3スペースにジャンプして”完成させていただけた。本を出版することを人生の目標にしたことは一度もないのに、です。この波が来ている理由として思い当たることが一つだけあります。それは、私はこの方向に進むのでいいんだ、間違いはないという気持ちで動いているということなのです。そこに意識を向けると運ばれていく、そんなふうに感じています。※書籍はP3でご紹介しています。

SHIEN理論研究会、はじまります！

たておか先生の「世界を変えるSHIEN学」を読み進めながら、SHIEN学の背景にある理論を研究する会です。SHIEN学に始めて出会う方から、かなりよく知っている方まで幅広くご参加いただけます。プロセスパラダイムを楽しみながらコースパラダイムの出現を体験してみましょう。

ファシリテータ:伊藤めぐさん
(SHIENアカデミー札幌分校)



■開催予定

※遠方の方はSkypeで参加できます。事務局までお問い合わせください。

第2回: 1月25日(月)18:30~20:00 札幌 Cafe tone(札幌市北区北23条西10丁目1-6)

第3回: 2月28日(日)19:00~20:30 東京(東京工業大学 キャンパスイノベーションセンター東京 5階 501)

■参加費 3,000円

■お申込み: shien@shien-academy.jpまで、お名前とメールアドレスをお知らせください。

書籍のご紹介

『人間関係が楽になる
医療・福祉現場のコミュニケーション』
コーチング思考で“人”を理解する
ための25の事例 (三輪書店)



東京分校設立記念フォーラムで講師を務めた井原くみ子さんが共著で書籍を出されました。コーチングの本ではありませんが、中に込められているのは、SHIENの心です。Amazonでどうぞ。
<http://amzn.to/1YsXlw1>

会員・講座受講中の皆様へ

SHIENアカデミー東京分校
第1回東京あったまる会
2015年

2/28(日) 16:30~

東京工業大学
キャンパスイノベーションセンター東京 5階 509B

SHIENアカデミー公認資格講座受講中のみなさまと、資格認定者のみなさまを対象に東京分校あったまる会を開催します。

SHIENの輪を広げながら、東京分校の活動を一緒に考えていきましょう。お申込みはshien@shien-academy.jpまで

終了後、引き続きSHIEN理論研究会にご参加ください！

一般社団法人SHIENアカデミー静岡

TEL/FAX 053-434-9776 shien@shien-academy.jp

<http://www.shien-academy.jp>

<https://www.facebook.com/shien.academy>

SHIEN学×コラボシリーズ

第4回 SHIEN学×川越胃腸病院

SHIEN学は現在、社会的に起こりつつあるムーブメントと親和性の高い科学です。シリーズ第4回では、「患者満足度No.1」の川越胃腸病院(埼玉県)を紹介します



SHIEN学とクロスファンクショナルチーム運営について

医療法人財団献心会川越胃腸病院

総務部長 医療サービス対応事務局長 小川 卓(SHIEN学アドバイザー)

私の職場(医療法人財団献心会川越胃腸病院:望月智行理事長)では、患者対応における総合窓口として、また、院内の各部署間や委員会活動のコーディネーター役として、医療サービス対応事務局を設置しています。構成メンバーは11名、それぞれの担当部署との兼務とし、優れた感受性と行動力を持つ役職員11名が任命されています。患者満足を目指し、他院にないオリジナリティある取り組みを継続した結果、チームとして「消費者志向優良企業グループ経済産業大臣賞(2004年・医療機関初)」を受賞できました。私は事務局長としてチームのまとめ役なのですが、この部署横断型組織を運営する上で、SHIEN学が大いに役立っています。

事務局の発足当初は、部署間にトラブルがあった場合、双方の言い分を聞いて、スタッフが納得するような解決案を提示する。そんな「大岡裁き」をひねり出そうと張り切った時期もありました。しかし現実はその簡単ではなく、偶然解決できたとしても、しばらくするとまた同じような問題が起きてきました。SHIEN学で「リザルトパラダイム」と「プロセスパラダイム」の違いを学んだ時、なぜ上手くいかなかったのかを

理解できました。問題解決において、プロセスが変わらなければ本質的な答えには辿り着けないからです。

現在の事務局における問題解決方法は緊急の場合を除いて、事務局として一方的に解決しようとはしません。まずは無数にある事実をすくい上げ、情報レポートとして各部署責任者に回覧します。みんなのフィルターを通るうちに井戸端会議が行われ、結論らしきものが見えてくることがあります。ヨコのつながりで解決できれば、そのプロセスが組織全体の力になります。

数年前には、「なぜ望月院長の外來診察は他の医師より満足度が高いのか」検証を試みたことがあります。院長は常々「医療は言葉だ」と断言されます。そこで院長の診療スタイルや言葉がけを若手医師が真似すれば、医師全体の底上げができると思ったからです。

院長は同じ説明内容でも患者さんに合わせて、微妙に表現を変えていました。例えば「次回は半年後に受診してください」と伝える場合、高齢者には「半年後にまた元気なお顔を見せてくださいね」という言い回しをしたりと、ほんの少しずつ変えていたのです。(次ページに続く)



一般社団法人SHIENアカデミー静岡

TEL/FAX 053-434-9776 shien@shien-academy.jp

<http://www.shien-academy.jp>

<https://www.facebook.com/shien.academy>

SHIEN学×コラボシリーズ



後で院長に質問したところ、意識的に線引きするのではなく、患者さまと医師としての自分の関係性から、相手を優先すれば、自分もごく自然に変化しているとのことでした。しかし、この微細な違いこそが、患者側の満足度に大きく影響していると感じました。結局、「模範診療トーク集づくり」は企画倒れに終わりましたが、望月院長の「相手を感じて、自ら変わる」という診療姿勢は、日々初めて起きる出来事への対応に戸惑いを感じることの多い私たち事務局メンバーの行動模範となりました。

院内で発生するあらゆる状況をこちら側の判断で決めつけず、共感力をもって対応していく。その共感も相手のことを理解しているという前提の「シンパシー」ではなく、理解できていないからこそ、相手の立場に回り込もうとする姿勢、すなわちSHIEN学で学んだ「エンパシー」が大切だと確認し合っています。

また、エンパシーと共に大切にしているのが、「安心感」です。安心感のないチームでは、自己保身や余計なアクションが多くなったり、自分の負担だけを減らそうとしたりと、チーム全体に無駄な時間や労力が生まれるからです。改

善活動に力を入れ過ぎると、つい過去の違いを示そうと躍起になりがちです。スタッフにとって、何かが変わる時には、何らかの違和感が生まれます。その揺れる気持ちをよく理解して、共に新たな価値を創り上げようという共創の精神が大切だと考えています。安心感がチーム内にあると、余計な心配や計算をする必要がない、本題を本音で話せる、お互いが進んで協力するという好循環が生まれます。

スタッフ一人ひとりの体験や情報がただ存在するだけでは、新しい価値は生まれてきません。事務局が病院全体に貢献し続けるためには、スタッフの思いや収集した情報を重ね合わせるしくみや組織風土が必要になります。重なりがなかったところに、重なりを創り合うこと、そして、安心感をベースとして、SHIEN学の提唱する他者を自分より少しだけ先にする利他性による相互信頼を育むこと。そうすれば互いの力を引き出し合いながら、「してもらう、してあげることを交換する」関係づくりが循環しつづけるはずだと考えています。私は部署横断型活動のチームリーダーとしてSHIEN学をベースとした「エンパシー」と「安心感」と「重なりづくり」を心掛けています。

SHIENアカデミー 公開講座のご案内

SHIENアカデミーでは全国各地で公開ワークショップを開催しています。詳細は事務局までお尋ねください。
このほか、ご希望の地域での開催も可能です。 shien@shien-academy.jp 事務局 村木

浜松開催 1月30日（土） 13:30～

会場：株式会社都田建設 ドロフィーズキャンパス
参加費：5,000円（学生3,000円）

21世紀の働き方、組織のあり方

講師：蓬台弘明氏（株式会社都田建設 代表取締役）
館岡康雄先生（SHIENアカデミー代表理事／静岡大学大学院教授）

金沢開催 2月22日（月） 18:00～

会場：野々市市交遊舎 会議室1, 2 参加費：8,000円

力を引き出し合う「新しい働き方」を学ぶ
～世界を変えるSHIEN学～

講師：館岡康雄先生（SHIENアカデミー代表理事／静岡大学大学院教授）
SHIEN相談会ファシリテータ：伊藤めぐ（SHIENアカデミー運営委員／SHIENアカデミー北海道代表）

2月13日（土） 北海道分校開校記念フォーラム開催予定！
詳細は決まり次第、ホームページで公開します。

SHIENアカデミー 公認資格講座のご案内

日程	地域	開催講座	会場（予定）	申込〆切
2016年3月 12日(土)	北海道	SHIEN学アドバイザー	札幌: Cafe tone 札幌市北区北23条西10丁目1-6	2月末頃
2016年4月 9日(土) 10日(日)	未定	SHIEN学アドバイザー SHIEN学マスター	未定 (詳細は決まり次第HP掲載しま す)	3月末頃

公認資格講座には受講資格を設けています。事務局にお問い合わせください。

一般社団法人SHIENアカデミー静岡

TEL/FAX 053-434-9776 shien@shien-academy.jp

<http://www.shien-academy.jp>

<https://www.facebook.com/shien.academy>